

「Tokyo Contemporary Art Award」 概要

【目的】

国内で実績があり、世界に発信すべき中堅アーティストのステップアップを促し、世界で活躍するアーティストの登竜門となるような賞を通じ、東京の文化都市としての魅力を向上させる。

【対象】

海外での活動に意欲があり、10年以上の活動歴を有する現代美術の分野で活動する中堅アーティスト（ジャンル不問）

【特徴】

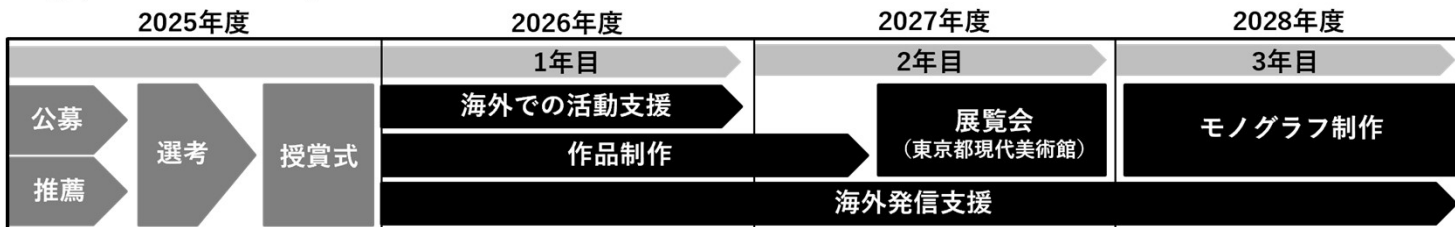
- ・スタジオ訪問や面接により、作品のみではなく、制作のプロセスを含めたアーティストのポテンシャルを総合的に審査
- ・東京都現代美術館での展覧会実施、海外発信支援等、受賞から複数年をかけて継続的に支援

【支援内容】

受賞者は2組とし、それぞれに以下の支援を行う。

- (1) 賞金300万円
- (2) 海外での活動支援上限200万円（旅費、滞在費、調査・制作費等）
- (3) 展覧会の実施（東京都現代美術館での展示、2027年度予定）
- (4) モノグラフ（作品集）の作成（上記（3）の展覧会実施後に制作）・海外発信支援

【賞のスケジュール】



Tokyo Contemporary Art Award 2026-2028 選考委員（順不同／敬称略）

ホセリーナ・クルス	マニラ現代美術デザイン美術館（MCAD）ディレクター兼キュレーター
近藤健一	森美術館 シニア・キュレーター
高橋瑞木	CHAT 館長兼チーフキュレーター
野村しのぶ	東京オペラシティアートギャラリー シニア・キュレーター
レズリー・マ	メトロポリタン美術館 ミン・チュウ・シュウ&ダニエル・シュウ 近現代美術部門 キュレーター
近藤由紀	トーキョーアーツアンドスペース プログラムディレクター

※肩書きは令和7（2025）年6月時点のもの

【選考会運営事務局】 特定非営利活動法人アーツイニシアティヴトウキョウ [AIT／エイト]